



日本化学工業株式会社



# 平成30年3月期 決算説明会

- 1 会社概要
- 2 平成30年3月期連結業績概要
- 3 平成31年3月期連結業績見通し
- 4 中期経営計画について
- 5 研究開発状況について

2018年5月25日

日本化学工業株式会社 4092

© 2018 Nippon Chemical Industrial Co., Ltd.

# 1

## 会社概要

# 基本情報



<b>会社名</b>	<b>日本化学工業株式会社 (NIPPON CHEMICAL INDUSTRIAL CO.,LTD.)</b>
<b>創業</b>	<b>1893年（明治26年）</b>
<b>創立</b>	<b>1915年（大正4年）</b>
<b>資本金</b>	<b>5,757,110,605円</b>
<b>事業内容</b>	クロム製品、シリカ製品、りん製品の無機化学品を主力に、 電子材料、有機化学品、農薬などの製造販売・輸出

## 人を大切に、技を大切に



**New Challenge <人> + New Creation <技>  
= New Chemical**

# 2

## 平成30年3月期連結業績概要

# 平成30年3月期連結業績



(百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	増減	前年同期比
売上高	33,484	36,798	3,313	110%
営業利益	3,336	4,084	748	122%
経常利益	3,460	4,009	548	116%
純利益	2,557	2,774	217	108%
ROE	8.4	8.3		

## 主な増減要因

化学品事業	4 %減収
機能品事業	2.8 %増収
賃貸事業及びその他事業	1.4 %増収

# 平成30年3月期事業別の収益

(百万円)

		平成29年3月期	平成30年3月期	増減	前年同期比
化学品 事業	売上	16,783	16,137	▲ 646	96%
	営業利益	1,462	767	▲ 695	52%
機能品 事業	売上	11,712	14,971	3,258	128%
	営業利益	944	2,260	1,316	239%
賃貸事業	売上	771	874	102	113%
	営業利益	494	540	46	109%
空調関連 事業	売上	3,198	3,834	636	120%
	営業利益	342	455	113	133%
その他	売上	1,017	980	▲ 37	96%
	営業利益	79	39	▲ 40	49%
合計	売上	33,484	36,798	3,313	110%
	営業利益	3,336	4,084	748	122%

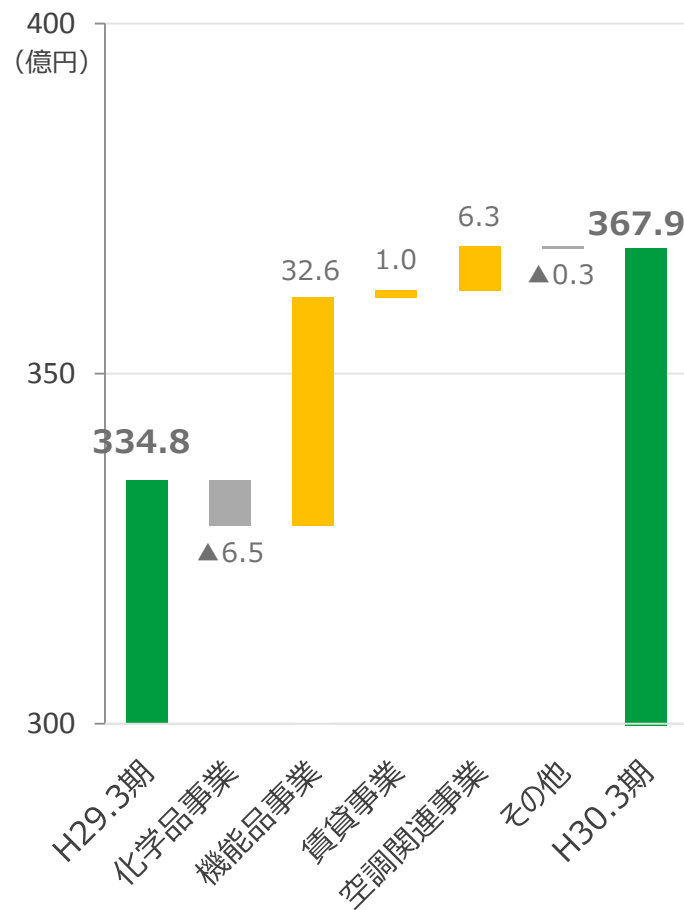
# 平成30年3月期 売上高実績

(億円)

	H29.3期	H30.3期	前年同期比
<b>化学品事業</b>	<b>167.8</b>	<b>161.3</b>	<b>96%</b>
<b>機能品事業</b>	<b>117.1</b>	<b>149.7</b>	<b>128%</b>
<b>賃貸事業</b>	<b>7.7</b>	<b>8.7</b>	<b>113%</b>
<b>空調関連事業</b>	<b>32.0</b>	<b>38.3</b>	<b>120%</b>
<b>その他</b>	<b>10.1</b>	<b>9.8</b>	<b>96%</b>
<b>合計</b>	<b>334.8</b>	<b>367.9</b>	<b>110%</b>

クロム製品	めっき向け、耐火物向け堅調
シリカ製品	環境関連向け大幅に落ち込み
りん製品	液晶・半導体向け堅調
ホスフィン誘導体	海外向け(触媒等)好調
農薬	堅調に推移
電池材料	主要顧客向け大幅伸長
電子セラミック材料	スマホ・自動車向け大幅伸長
回路材料	中・小型パネル向け低調
賃貸事業	西淀川工場跡地再開発完了
空調関連	新規設計・施工が好調に推移
書店経営	新規出店したが既存店売上減

## 対前年度差異状況





# 連結貸借対照表



(百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	増減
【資産の部】			
流動資産	26,429	29,839	3,410
現金及び預金	8,544	8,937	393
受取手形及び売掛金	9,229	11,849	2,619
たな卸資産	7,539	8,212	673
その他流動資産	1,117	841	▲ 276
固定資産	31,913	32,402	489
有形固定資産	23,709	24,445	735
無形固定資産	573	265	▲ 307
投資有価証券	6,584	6,723	139
その他の資産	1,047	969	▲ 78
資産合計	58,342	62,242	3,900

# 連結貸借対照表



(百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	増減
<b>【負債・純資産の部】</b>			
流動負債	<b>19,209</b>	<b>16,178</b>	<b>▲ 3,031</b>
支払手形及び買掛金	<b>3,327</b>	<b>4,107</b>	<b>779</b>
短期借入金	<b>11,645</b>	<b>6,535</b>	<b>▲ 5,110</b>
その他流動負債	<b>4,237</b>	<b>5,536</b>	<b>1,299</b>
固定負債	<b>6,932</b>	<b>11,545</b>	<b>4,613</b>
長期借入金	<b>2,000</b>	<b>5,960</b>	<b>3,960</b>
退職給付に係る負債	<b>866</b>	<b>931</b>	<b>65</b>
繰延税金負債	<b>2,370</b>	<b>2,475</b>	<b>105</b>
その他長期負債	<b>1,696</b>	<b>2,179</b>	<b>483</b>
負債合計	<b>26,142</b>	<b>27,723</b>	<b>1,581</b>
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	<b>28,729</b>	<b>30,976</b>	<b>2,247</b>
その他の包括利益累計額	<b>3,470</b>	<b>3,542</b>	<b>72</b>
純資産合計	<b>32,200</b>	<b>34,518</b>	<b>2,318</b>
負債・純資産合計	<b>58,342</b>	<b>62,242</b>	<b>3,900</b>

# 連結損益計算書



(百万円)

	平成29年3月末	平成30年3月末	増減	前年同期比
売上高	33,484	36,798	3,313	110%
売上原価	25,091	27,687	2,596	110%
販売費・一般管理費	5,056	5,026	▲ 30	99%
営業利益	3,336	4,084	748	122%
営業外収益	466	296	▲ 170	
営業外費用	342	372	30	
経常利益	3,460	4,009	548	116%
特別利益	0	0	0	
特別損失	458	134	▲ 324	
税金等調整前純利益	3,002	3,875	873	129%
法人税等	524	1,044	520	
法人税等調整額	▲ 79	55	134	
純利益	2,557	2,774	217	108%

# 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	平成29年3月末	平成30年3月末
I 営業活動によるキャッシュフロー	3,837	3,858
税金等調整前当期純利益	3,002	3,875
減価償却費	1,904	1,975
たな卸資産増減	▲ 191	▲ 673
その他	▲ 878	▲ 1,319
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,270	▲ 1,784
設備投資支出	▲ 2,110	▲ 2,262
その他	▲ 160	478
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,770	▲ 1,683
借入金を増減額	▲ 2,240	▲ 1,150
配当金支払い額	▲ 524	▲ 527
その他	▲ 6	▲ 6
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,201	393
現金及び現金同等物の期首残高	9,735	8,534
現金及び現金同等物の期末残高	8,534	8,927

# 3

## 平成31年3月期連結業績見通し

# 平成31年3月期連結業績見通し

(百万円)

	平成30年3月期	平成31年3月期 見通し	増減	前年同期比
売上高	36,798	37,000	202	101%
営業利益	4,084	3,400	▲ 684	83%
経常利益	4,009	3,400	▲ 609	85%
純利益	2,774	2,300	▲ 474	83%

## 主な増減見込

化学品・機能品・賃貸事業：堅調  
空調関連事業：減少  
製造コスト（原料価格）：上昇

# 平成31年3月期事業別の収益見通し

(百万円)

		平成30年3月期	平成31年3月期 見通し	増減	前年同期比
化学品 事業	売上	16,137	16,418	281	102%
	営業利益	767	777	10	101%
機能品 事業	売上	14,971	15,634	663	104%
	営業利益	2,260	1,816	▲ 444	80%
賃貸事業	売上	874	891	17	102%
	営業利益	540	553	13	102%
空調関連 事業	売上	3,834	3,120	▲ 714	81%
	営業利益	455	199	▲ 256	44%
その他	売上	980	937	▲ 43	96%
	営業利益	39	55	16	141%
合計	売上	36,798	37,000	202	101%
	営業利益	4,084	3,400	▲ 684	83%

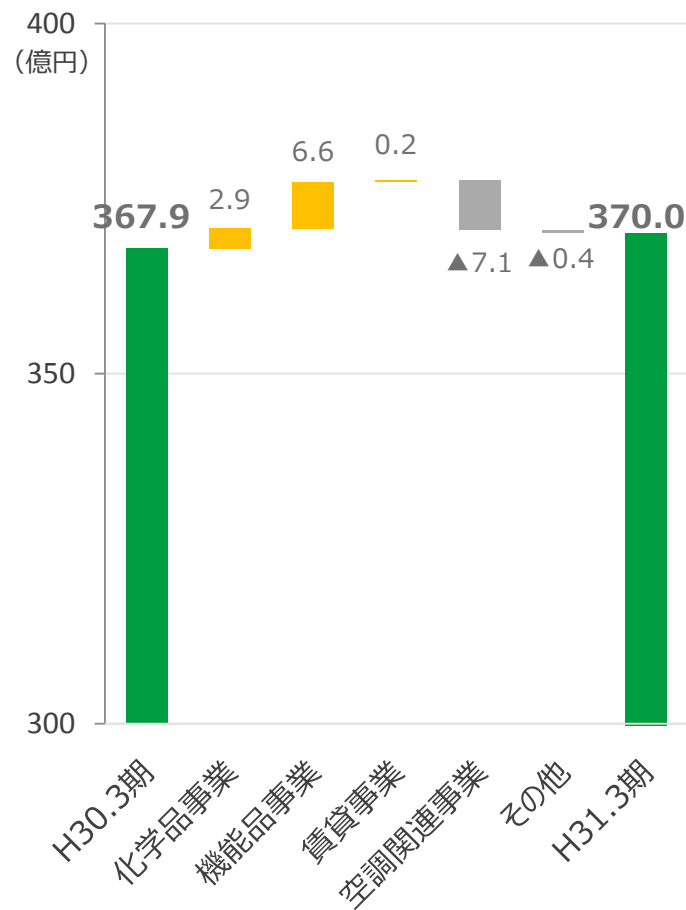
# 平成31年3月期 売上高見通し

(億円)

	H30.3期	H31.3期	前年同期比
<b>化学品事業</b>	<b>161.3</b>	<b>164.2</b>	<b>102%</b>
<b>機能品事業</b>	<b>149.7</b>	<b>156.3</b>	<b>104%</b>
<b>賃貸事業</b>	<b>8.7</b>	<b>8.9</b>	<b>102%</b>
<b>空調関連事業</b>	<b>38.3</b>	<b>31.2</b>	<b>81%</b>
<b>その他</b>	<b>9.8</b>	<b>9.4</b>	<b>96%</b>
<b>合計</b>	<b>367.9</b>	<b>370.0</b>	<b>101%</b>

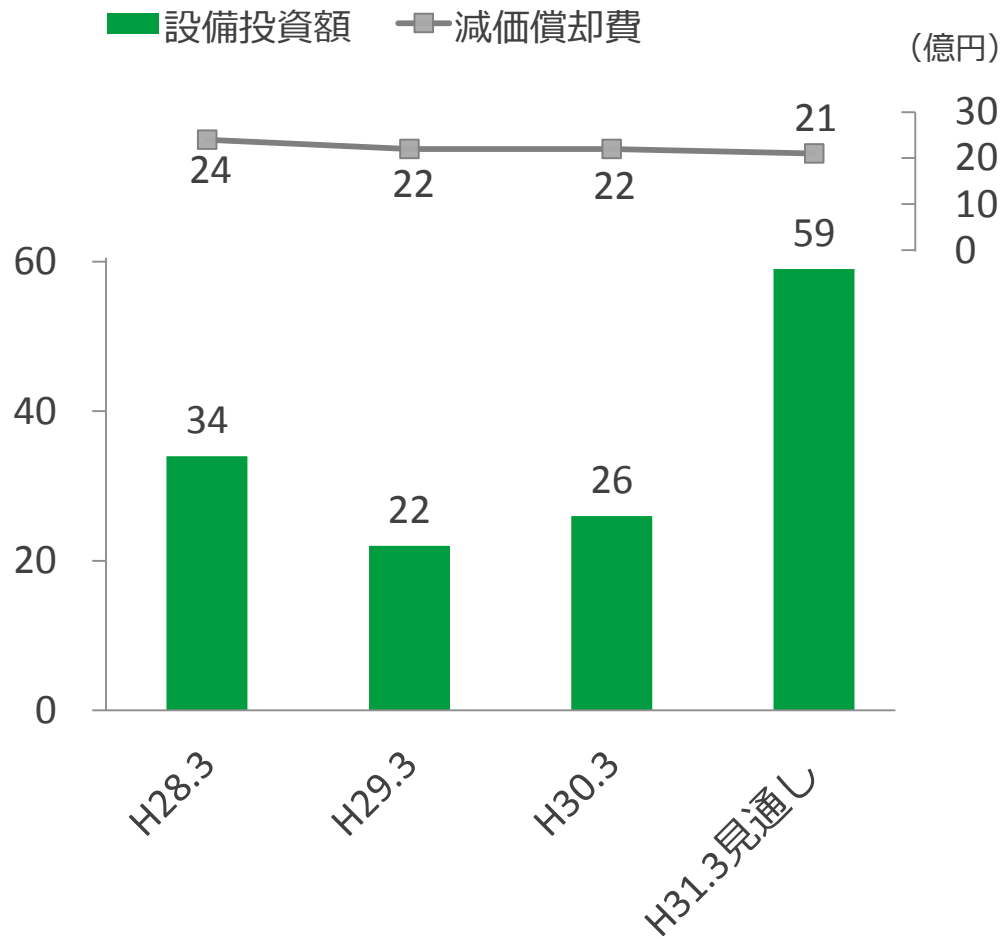
クロム製品	堅調に推移
シリカ製品	値上げ見込み増加
りん製品	堅調に推移
ホスフィン誘導体	堅調に推移
農薬	堅調に推移
電池材料	原料コバルト価格高騰
電子セラミック材料	スマホ・自動車向け好調を維持
回路材料	新グレード上市見込む
賃貸事業	堅調に推移
空調関連	大型案件一服
書店経営	既存店売上減

対前年度差異状況





# 平成31年3月期 設備投資額と減価償却費



**主な設備投資**

**H31.3見通し**

- 電子セラミック材料の設備増強
- 新製品量産設備の導入
- 生産性向上のための設備更新

# 4

## 中期経営計画について

## 持続的安定収益の実現に向けて

### ①重点分野への集中投資

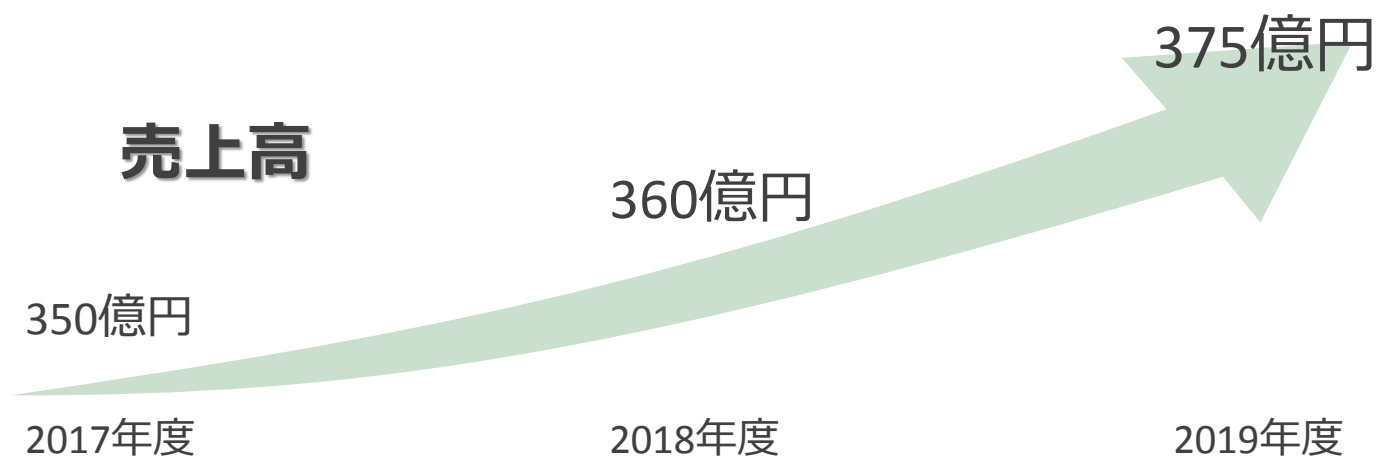
- ・ 機能品事業の拡張
- ・ 次世代製品を取り込んだ新工場建設
- ・ M&Aの推進

### ②海外戦略の積極的展開

- ・ アジアマーケットへの積極的販売
- ・ 海外事業所の連携強化
- ・ 東南アジア生産拠点設立の検証と実現

### ③経営基盤の強化

- ・ 国内既存マーケットの巻き返し
- ・ 保有資産の有効活用
- ・ 人材育成の促進



# 中期経営計画施策と進捗①

## ①重点分野への集中投資

②海外戦略の積極的展開

③経営基盤の強化

---

### 機能品事業の拡張

- 電子材料、有機関連製品の設備投資及び試作品開発費が増加。
- 負熱膨張材、量子ドット材料を開発、当社固有技術を訴求。

---

### 次世代製品を取り 込んだ新工場建設

- 伸長するマーケット及び顧客に追随する為、電子材料、有機関連製品への大型投資を計画。投資額は計画を上回る見込み。
- 今秋から次期中期経営計画の作成に取り掛かる予定。

---

### M&Aの推進

- 数件の検討を実施。
  - 現在もターゲットを選定しており、内容を精査中。
-

## 中期経営計画施策と進捗②

①重点分野への集中投資

**②海外戦略の積極的展開**

③経営基盤の強化

---

### アジアマーケット への積極的販売

- JCI上海と経営戦略部で主に有機系材料を中心に中国市場の需要開拓を進めている。
- JCI (THAILAND) を17年8月に設立。東南アジアマーケットの開拓に取り組み中。

---

### 東南アジア生産拠点 設立の検証と実現

- 一部製品の海外生産と採算性について検討中。

---

### 海外事業所の 連携強化

- 3社連携強化と拠点間貿易の実現に向け、海外駐在員会議を定期的を実施。
  - 各拠点が保有する情報を共有し、海外売上高拡大に向けた取り組みを展開中
-

## 中期経営計画施策と進捗③

①重点分野への集中投資

②海外戦略の積極的展開

③経営基盤の強化

---

**国内既存マーケット** ● 既存製品の顧客開拓深耕とシェア拡大に向けた取組みを実施中。

**の巻き返し** ● 工程変更、原料変更等、各種原価低減策を検討または実施中。

---

**保有資産の有効活用** ● 西淀川工場跡地再開発の完遂。長期的な収益貢献が期待される。

● 工場遊休地の賃貸によるPL化を検討中。

---

**人材育成の促進** ● 中途採用による人材の確保と適材適所の人員配置を実施。

● 中堅社員研修を再開。公的資格取得推進の為、規程を改定し新たに通信教育を実施。新人教育研修の見直し、その他各種教育を検討中。

---

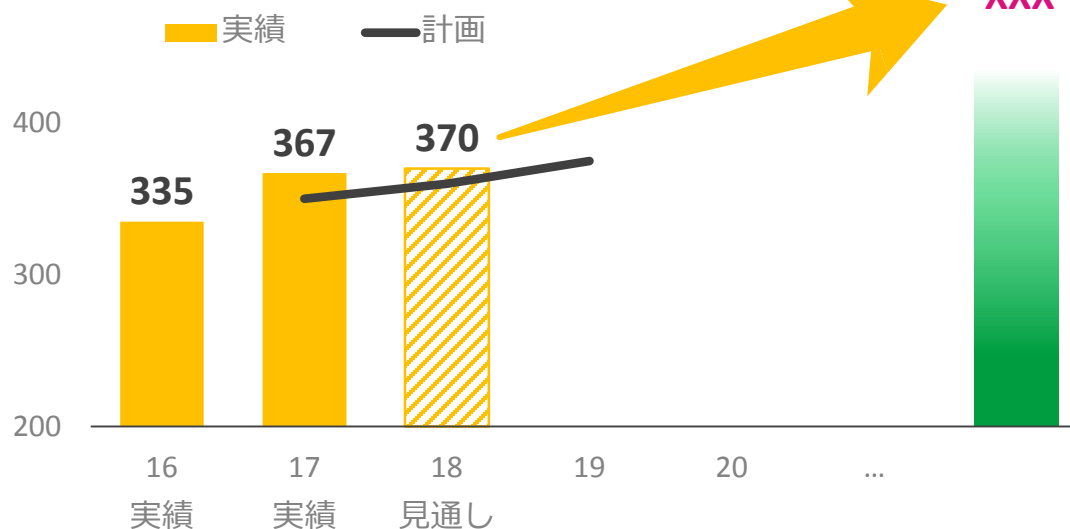
# 中期経営計画施策と進捗④

## 主要数値計画と実績、見通し

(億円)

	2017年度		2018年度		2019年度
	計画1年目	実績	計画2年目	見通し	計画3年目
売上高	350	367	360	370	375
営業利益	25	40	28	34	29
率(%)	7.1	10.9	7.7	9.2	7.7
設備投資額	34	26	53	59	30
新製品売上高	22	21	28	28	20

中計対比 (売上高)



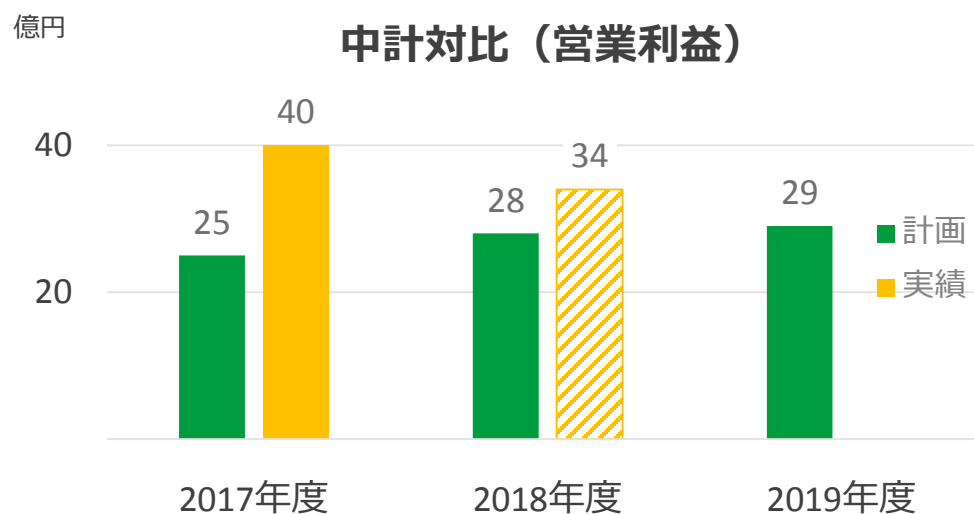
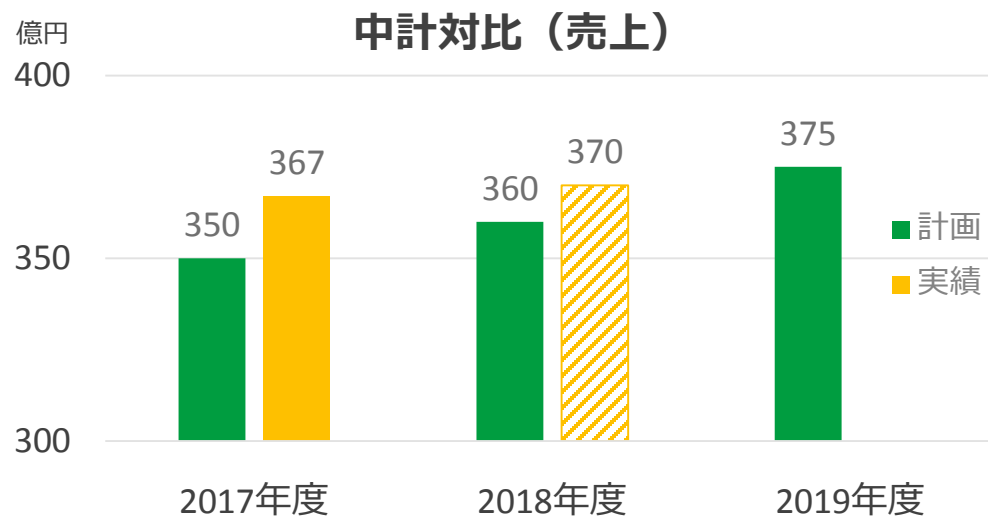
# 中期経営計画施策と進捗④

## 売上・利益進捗

### 進捗状況

売上・利益とも中計1年目、2年目の数値計画を上回る見込み。

原料費の上昇や投資増、人件費増などのコスト負担増加が懸念材料。





# 中期経営計画施策と進捗④

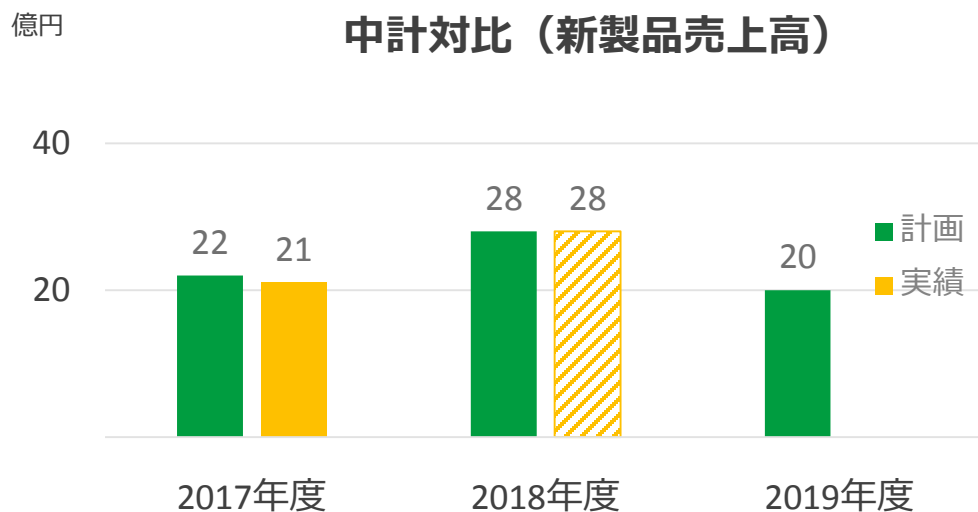
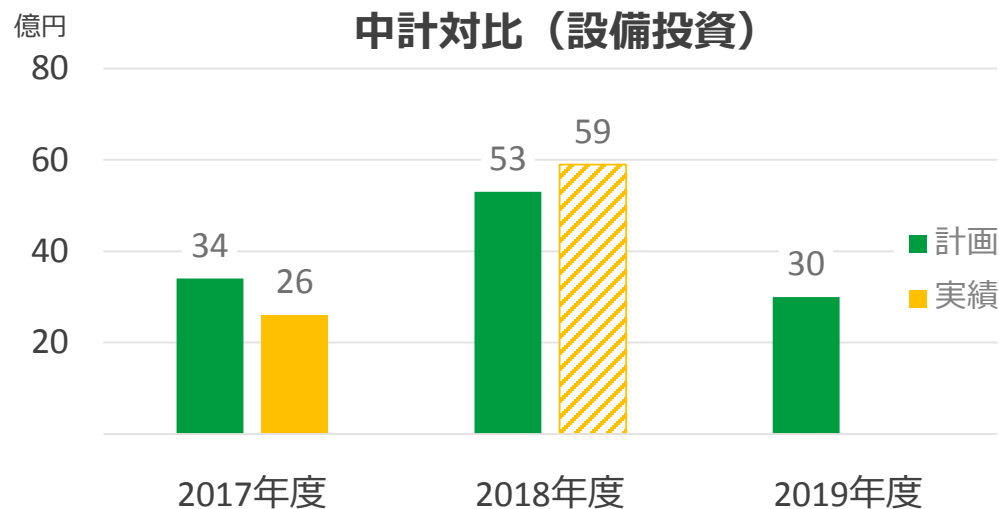
## 設備投資・新製品売上高

### 進捗状況

設備投資は17年は翌年度への繰延が多く、設備投資額は8億円の減少。18年は研究開発や増産の投資があり、大幅に増加する見込み。

新製品はグレード開発の他に有機関連製品の上市が進み、増加の見込み。

※製品登録した年度から翌々年度までを新製品として区分する。

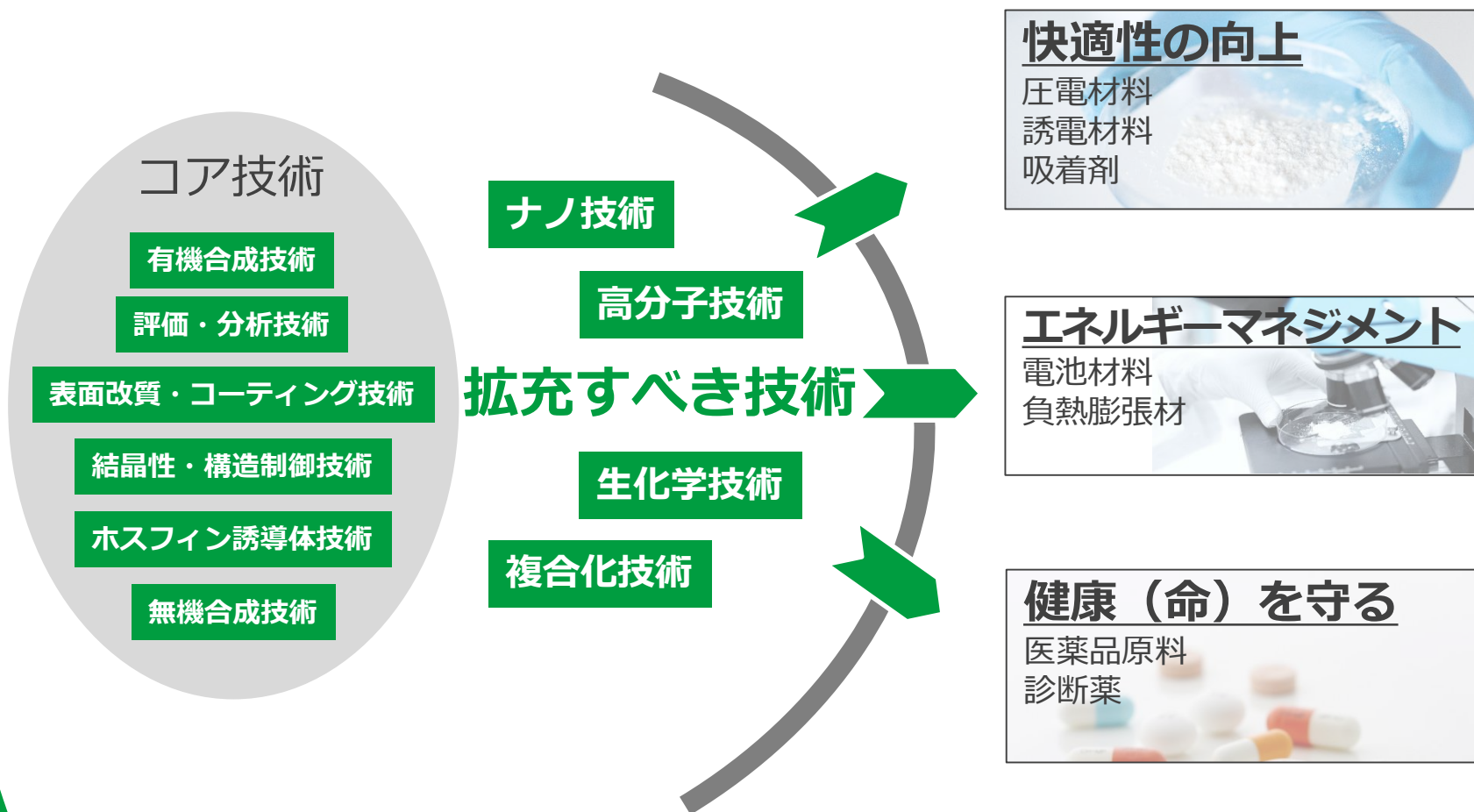


# 5

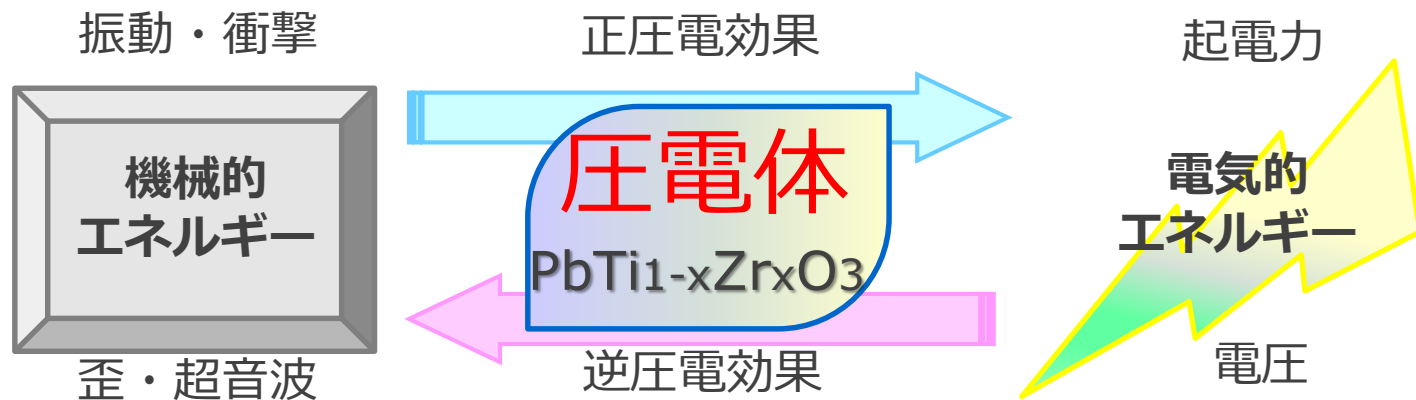
## 研究開発状況について

# 中期開発コンセプトについて

当社技術の検証を終え、新技術を取り入れながら、新市場、新分野の開拓に向けた取り組みが進行中。



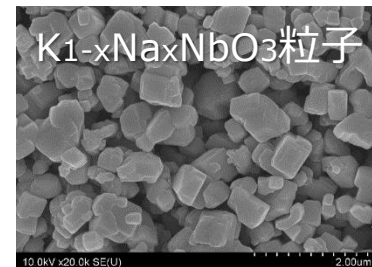
# 開発事例① 非鉛圧電体材料の開発



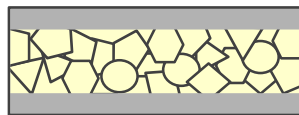
## 開発品

酸化物粉体製造技術の展開

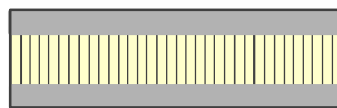
$K_{1-x}Na_xNbO_3$   
 $BaTiO_3-BiFeO_3$



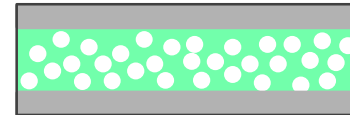
バルク・積層セラミック



セラミック配向薄膜



無機フィラー/高分子複合体



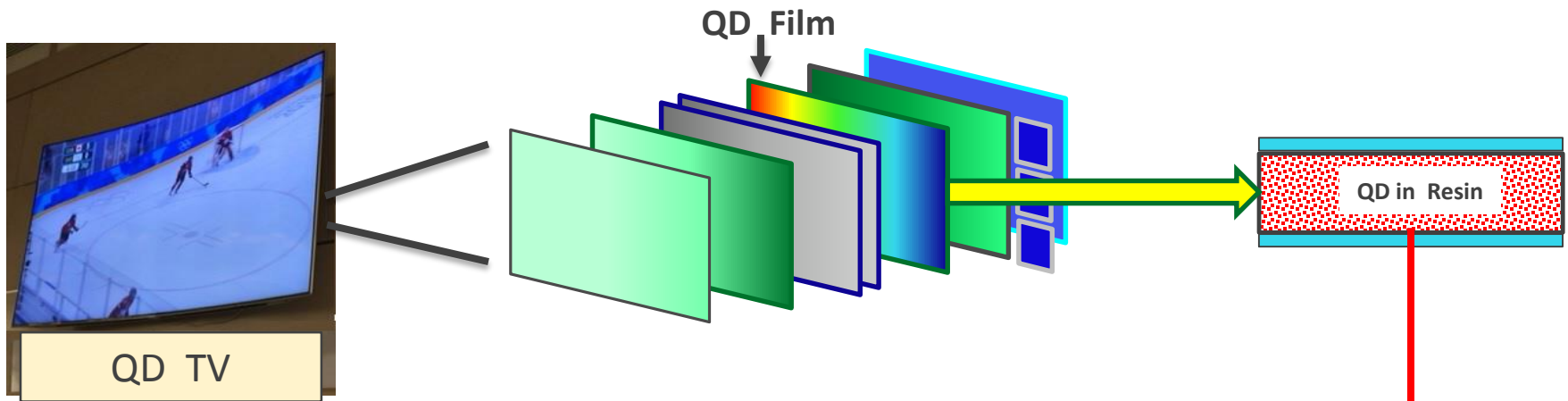
エレクトロニクス  
デバイス

医療・介護  
見守りセンサ

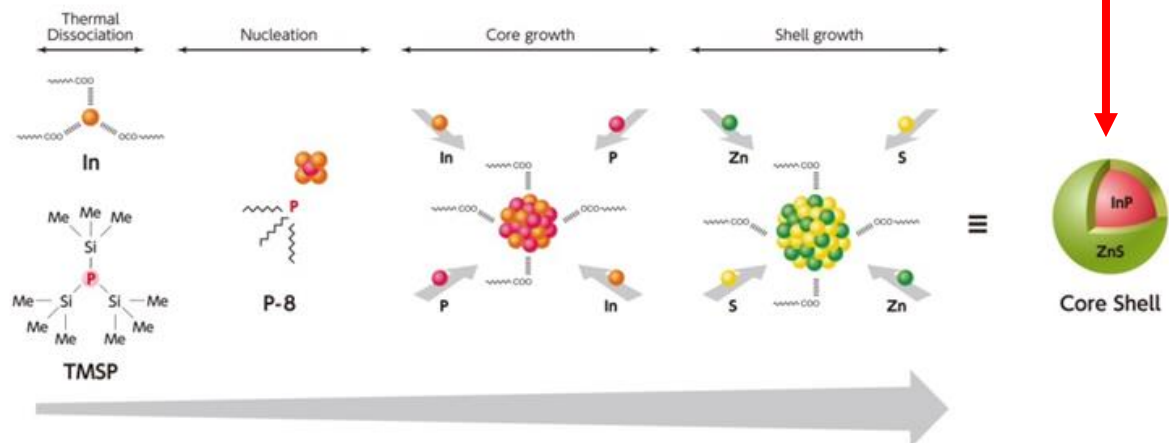
エネルギー  
IOT電源

# 開発事例② 量子ドット材料の開発

欧州の規制等を念頭に入れ、InP量子ドットに着目、そのリン源となるTMSPを開発してきました。TMSP以外にも、当社の有機リンを生かしたQD材料を開発、お客様にご評価いただいております。



当社製品  
TMSP  
TOP(P-8)  
TOPO  
TOP=Se  
TBP=S



# おことわり



当資料に記載されている業績予想・事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から種々の前提に基づいて当社が作成したものです。記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありませんので、ご承知おき下さい。